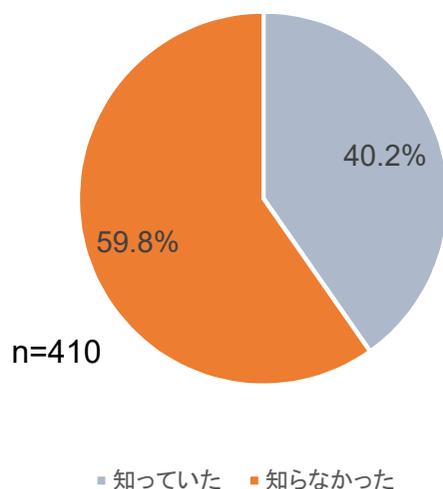


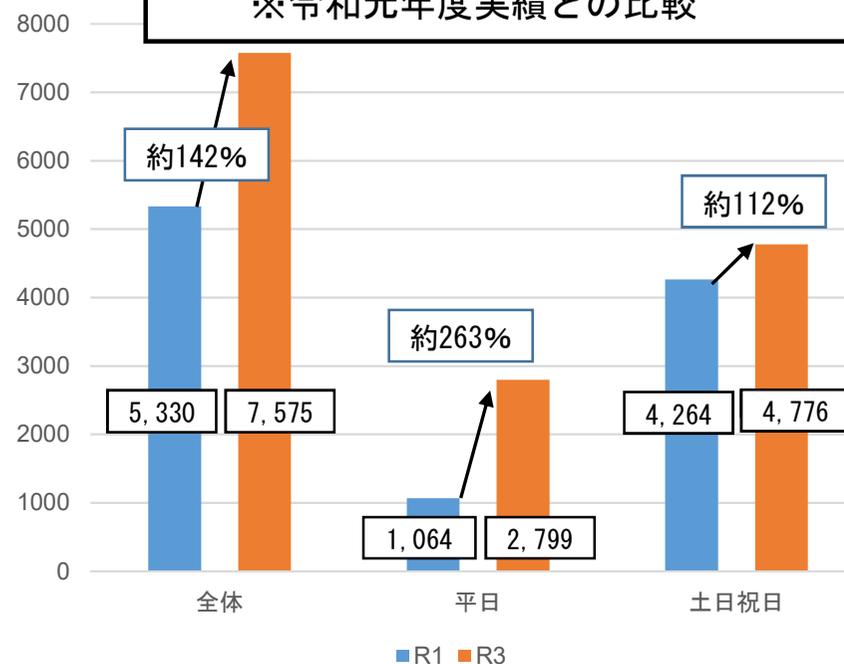
- 1 概要 令和3年7月21日～令和4年3月31日にかけて通常1台あたり500円かかる赤穂海浜公園の駐車場を平日無料化する社会実験を実施

駐車場平日無料化の認知率



月当たりの駐車台数の変化

※令和元年度実績との比較



〔考察〕

- ・ 認知度は約40%であったにも関わらず平日の月当り駐車台数が約2.6倍に増加するなど高い集客効果が見られた。

〔課題〕

- ・ 無料化に伴い、月当り約60万円の減収となった。

赤穂海浜公園 駐車場平日無料化社会実験 効果検証

2 課題に対する検討

高い集客効果が期待できるものの、年間駐車場料金が720万円減収するため、公園の管理水準の低下が懸念される。

【参考】減収への対応例

○管理水準を下げて対応する場合

- ・ 園内芝生広場で実施している芝刈りの回数が半減

○他収入によって補う場合

- ・ 例えば土地使用料を得るために、民間事業者に3,500㎡分※の施設の設置管理許可を出す必要がある。
※サッカーコート半面分相当

〔考察〕

- ・ 減収分を補うためには公園の管理水準を下げるか、園内施設の土地使用料によって補填する等の方法が考えられるが現実的に難しい。
- ・ 駐車場無料化することで集客が見込めるものの、駐車場料金のあり方や、民間活力の導入による新たな財源確保等については今後検討が必要。